知っておこう。

川での楽しい釣りや水遊びも、時に急な増水や川底の深みで水難事故につながることがあります。近年も急な増水や深みによる死亡事故が発生しています。そのため、川で遊ぶときは、川や水辺にひそむさまざまな危険を知り、事前の準備と、活動時の安全管理をすることで、事故を防ぎましょう。

発行

大阪府 都市整備部 河川室

〒540-8570 大阪市中央区大手前二丁目
tel.06-6941-0351(代表)
http://www.pref.osaka.lg.jp/s_kasen/

川で遊ぶ時は必ずチェック!

CHECK 1

川に出かけるときは
まず、天気をチェック!
行き先には、大雨注意報・警報は出ていませんか?

天気予報専門サイト
tenki.jp
(一財)日本気象協会

CHECK 2

川のリアルタイムな情報を活用しよう!
川に着いたらレーダー雨量や水位を確認しよう

▲レーダー雨量

国土交通省では川の防災情報を携帯電話向けに情報提供しています。
右は、大阪周府辺のレーダー画面です。

QRコードの使い方

パーコードリーダー対応の携帯に限ります

① 携帯電話のパーコードリーダーを起動し、垂直になるよう撮影します。

② サイトが表示されます。

マメ知識

大阪府の「防災情報メール」では、地域に発表された警報・注意報などをメールで携帯電話にお知らせします。

防災情報メール

touroku@osaka-bousai.net (空メールを送信してください)

ストップ! 河川水難事故

急な増水や深みに注意!!

大阪府 都市整備部 河川室

川のことをよく知ろう！

～急な増水や深みに注意!!～

川で遊ぶことは、すごく楽しい。魚捕りやカヌー、水遊び、たくさんの楽しみがみんなを待っている。

でも川には、急な増水や背が届かないくらい深いところ、水の流れが速いところ、滑りやすいところなどの危険があるんだ。「天気に常に気を配る」、「川の様子をよく見る」などいくつかの注意で、急な増水や川底の深みによる水難事故を未然に防ぎ、安全に川を楽しもう！

こんなことに気を付けよう!!

上流の雨
今いる場所で晴れていても、上流や流域の局地的豪雨で、一気に川の水が増水し、水位が上昇することがある。

浮き石
うっかり足をのせるとバランスを崩し、落水することもある。

落差工
川の中にある段差の近くでは、強い流れに引き込まれたりする。

穏やかな流れ
一見穏やかに見える流れも、川底の影響で流水は一定ではない。川の事故の約 90%はこの穏やかな流れで発生している。

（公財）河川財団　水辺の安全ハンドブックより

1 川に行く前に

1. 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ!
2. 川に近づく場合は、ライフジャケットなど活動に合った準備をしよう。

2 川に着いたら

1. 川に関する注意看板があれば確認しよう。
2. 大人も子どももライフジャケットを着用し、子どもからは目をはなさない。
3. 川のリアルタイムな情報を確認し、上流の状況についても把握しよう。

3 急な増水や川底の深みに注意！

1. 雨が降り増水すると川底になるぞ。特に、中州にいると川に取り残されて逃げられなくなるぞ！
2. 平常時でも、落差工の近くや川底には深みがあるぞ。深みにはまると溺れるぞ！
3. 川には流れがあり、常に変化しているぞ！
4. 一見穏やかに見えても急に深くなる所や滑りやすい所があるぞ！

深みがあるぞ！
気を付けよう!!

中州は危険！
増水すると川に取り残されるぞ！

4 すぐに避難！

1. 空が曇ったり、濁った水が流れて来たら、直ちに避難しよう!
   すぐに川は増水するぞ！

注意報や警報がでたら、すぐに避難！避難の遅れは事故につながるぞ！

2. パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

こんなときはすぐに避難！

増水の前ぶれはこんな時！

1. 山鳴り（山全体がうなるような音）がする。
2. 水かさが増え、濁ったり、流木、落ち葉が流れてくる。
3. 雨が降っているのに、水かさが減っている。
4. 腐った土・火薬のようなにおいがする。